

設立から50年。保存文書・完成図書などを得意分野に、次のビジネスモデルを模索中だ！



鈴木
匡社長

個人のお客様の気軽なコピーから、SOHO、企業のオフィスサポートまで総合ドキュメントセンターとして幅広く対応する。プリントスキャンから文書整理・製本までオフィスのトータルドキュメントセンターとして50年の実績を誇る。

ベルウッドフォトは昭和48(1973)年1月5日、東京都千代田区神田紺屋町7番地に設立された。鈴木社長は2代目。父親である先代社長が設立。先代は写真関係の商社に勤務。そこで独立を果たした。街の写真のプリントショップ、工業用マイクロ写真撮影の両方面からスタートし、時代の変化やニーズに対応しつつ、青焼き、大判複写機を導入。業容を拡大し、顧客のみなさまに支えられながらチャレンジし、業績をアップしてきた。

「現在ではスキャニング、CADにも注力し、CADや電子/電子化資料全般までを取り扱うようになり、また50年近くの営業実績によりお客様の様々な状況に応じた資料の作成/管理に携わりノウハウを培うことができた。そしてそれらをベースにさらに多様化した相談にも対応すべく、さらなる努力を続けていきたい。これからもオフィスサポートをモットーにドキュメントの視点から役立ちたい。大半が法人のお客様だ」と鈴木社長。

同社の現在は従来のコピー・製本サービスは当然のこと、CAD製図・トレースでは各種図面

からCAD図面への電子化(ラスター/ベクタ変換可)。CAD出力サービス(大判対応)。その他各種フォーマットのデータ入出力・電子データ化。各種成果品では建設CALSなど電子納品にも対応。そのほかに企画印刷、販促品、ちょっとしたサインージなども取り扱っている。まさにトータルドキュメントセンターとしての地歩を確立している。

しかし、その中でも顧客から絶対の信頼を得ている分野がある。

「保存文書整理から完成図書まで、完成品や竣工図の取りまとめ、最終成果品の作成などを得意分野に。売上高の90%以上を占める。これにはCAD関連も含まれる」と語るのは鈴木社長。

これらの取り扱い・作業には本社にある八重洲ドキュメントセンターと千葉県流山市にある流山サテライトセンターの2カ所が当たっている。スパンの長い官庁関連などでは後者が担当し、納期の短い最終成果品・完成図書類は本社が担当。しかし最近では両者間でシステム化が構築できたことでこの関係が変化することになりそうだ。

コロナ禍や電子帳簿保存法、SDGsなど顧客の業態や働き方が目まぐるしく変化している今、さらにベルウッドフォトはネクスト・ビジネスモデルを求めて、様々なルートで模索中だ。

●本社＝東京都中央区八重洲2-10-10新八重洲ビル2階 ☎03-6225-2541